

国道58号恩納バイパス

～平成23年4月29日 全線2車線暫定開通 整備効果～

事業目的

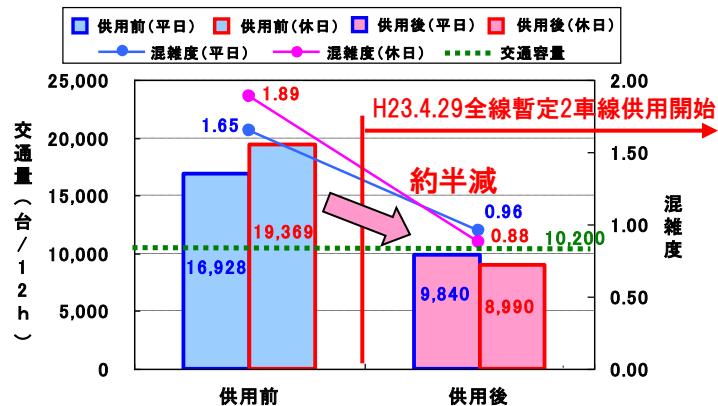
- ①観光シーズンにおける交通渋滞の緩和、②国道58号の交通安全確保および沿道環境の改善、③県内屈指のリゾート地である恩納村の観光支援

恩納バイパス供用による効果1

■ 58号現道区間（恩納村瀬良垣～南恩納）の交通事故件数が約6割減少。恩納バイパスの交通事故件数は、58号現道区間の約1/4で死傷事故はゼロ（図3）。特に、大型車（ダンプトラック）の約9割以上が恩納バイパスを利用（図2）。

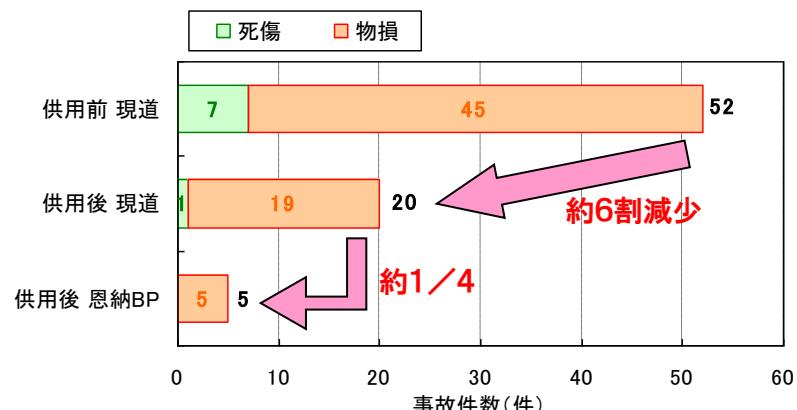
国道58号現道区間の沿道住民も安全・安心を実感。

■ 夏期観光シーズンにおける58号現道区間（恩納村瀬良垣～南恩納）の交通量が平日で約4割、休日で約5割減少。
混雑度は平日で1.65が0.96、休日で1.89が0.88と1以下となった（図1）。



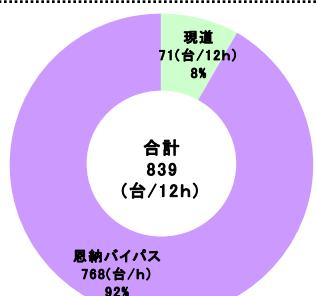
※交通容量についてはH17センサスの値を使用
出典: 交通量実態調査(観測地点: 恩納交差点)
調査日: 供用前(平日): H19.8.23(木)、(休日): H19.8.19(日) (夏季観光シーズン・高速無料化前)
供用後(平日): H23.8.17(水)、(休日): H23.8.21(日) (夏季観光シーズン・高速無料化終了後)
[混雑度: 交通混雑を表す指標。1.75以上は慢性的な混雑状況、1未満は円滑な走行可]

▲図1 国道58号現道における交通量と混雑度の推移



出典: 石川警察署提供資料
現道: 恩納交差点～瀬良垣交差点間における現道の供用前後4ヶ月間(5～8月)の事故件数
恩納BP: 恩納BP供用後のバイパス区間ににおける4ヶ月間(5～8月)の事故件数

▲図3 国道58号現道及び恩納BPにおける事故件数の推移



出典: 交通量実態調査(観測地: 恩納交差点)
調査日: 供用後(平日): H23.8.17(水)(通常時・高速無料化終了後)

▲図2 供用後の大型車(ダンプ)交通量(平日)



地域住民の声

- 現道を通行する大型車が少なくなり、生徒を送迎する保護者の車の右左折が容易になり、また、児童の登下校時の安全性も上がった。
- 現道の交通量が減少したため渋滞が緩和し、騒音も減少した。

国道58号恩納バイパス

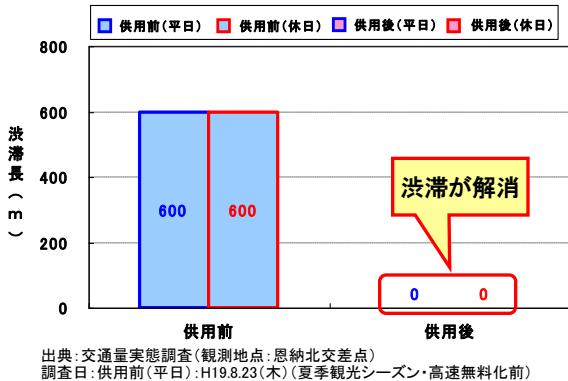
～平成23年4月29日 全線2車線暫定開通 整備効果～

事業目的

- ①観光シーズンにおける交通渋滞の緩和、②国道58号の交通安全確保および沿道環境の改善、③県内屈指のリゾート地である恩納村の観光支援

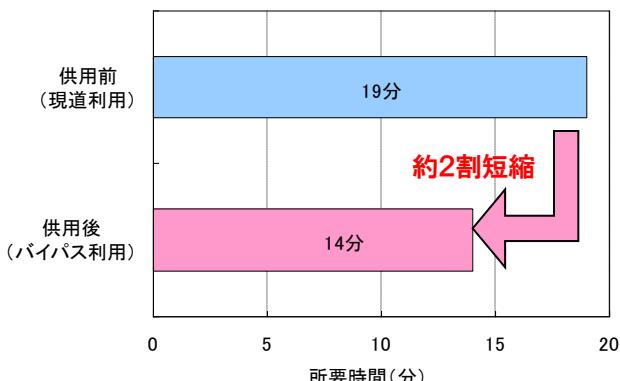
恩納バイパス供用による効果2

- 58号現道区間（恩納村瀬良垣～南恩納）において、著しかった夏季観光シーズンにおける交通渋滞が解消し（図4）、「県民の森」や「かりゆしビーチ」、「希望ヶ丘」といった恩納村北部の観光地までの所要時間が約1～2割短縮（図5）。
利用者も渋滞解消および渋滞解消に伴う観光地までの時間短縮を実感。
■ 恩納バイパスについては、今後も周辺の交通状況等を踏まえ整備を進めていく予定である。



出典：交通量実態調査（観測地点：恩納北交差点）
調査日：供用前(平日)：H19.8.23(木)（夏季観光シーズン・高速無料化前）
（休日）：H19.8.19(日)（夏季観光シーズン・高速無料化前）
供用後(平日)：H23.8.17(水)（夏季観光シーズン・高速無料化終了後）
（休日）：H23.8.21(日)（夏季観光シーズン・高速無料化終了後）

▲図4 国道58号現道における渋滞長の推移



※屋嘉恩納線屋嘉IC前交差点から国道58号県民の森入口までの所要時間
出典：（供用前）H19プローブ（平日）、（供用後）民間プローブ（平日）より集計

▲図5 屋嘉IC～県民の森間の所要時間の推移



供用前



供用後

現道の利用状況の変化

利用者の声(バイパス利用者)

- バイパスを利用することで、時間短縮が図られ、搬送先まで効率よくかつ安全に配送ができるようになった。
■渋滞がなくなり、信号や歩行者を気にせずスイスイ走れるので安心できる。
■例年のゴールデンウィークや夏季観光シーズンに比べて渋滞は減少しており、観光地やホテルまでの所要時間は短縮している。



※交通容量は「道路の交通容量昭和59年9月社団法人日本道路協会」に従い算出
出典：交通量実態調査（観測地：恩納交差点；12時間調査）

調査日：平日：H23.6.9(木)（高速無料化中）、H23.8.17(水)（高速無料化終了後）

休日：H23.6.12(日)（高速無料化中）、H23.8.21(日)（高速無料化終了後）

▲図6 恩納バイパスの交通量の推移